

## 捕獲や防護によるイノシシやサルの被害防止対策2

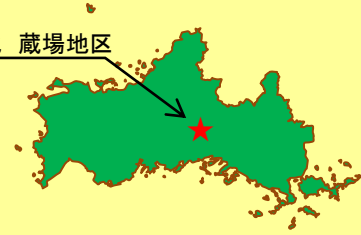
### 1 要旨

イノシシやサルによる農作物被害に悩まされている山口市徳地の蔵場地区において、サルの農作物被害対策を最重要課題とし、集落全体での見回りや追い払いなどの防護活動の継続に加え、地元猟友会と連携して捕獲活動を行うため、大型囲いわなを設置することで被害軽減に取り組んだ。

### 2 地区の概要

地区名	山口市徳地 蔵場地区
戸数	36戸（うち、農家30戸）
耕作面積	30ha
主な作物	水稻、野菜、果樹
加害獣種	イノシシ、サル
対策実施年度	平成29年度

山口市徳地 蔵場地区



### 3 被害の状況と課題

- 農地の山際でイノシシやサルによる農作物被害が発生している。
- サルの被害が甚大で、周年出没。野菜、果樹、シイタケなどの被害が増大している。
- 集落は過疎化し、空き家が11戸あるほか、休耕田も増加。農作物の生産活動の低下や田畑の維持も年々困難となっている。
- 防護柵の設置や花火による追い払いなども実施しているが、被害軽減に至っていない。

### 4 取組内容

#### (1) 集落環境調査を実施

- 住民及び市の職員により地区内を調査し、田畑の分布状況やその中で被害を受けている田畑の有無を始め、サルが目撃された場所などを地図に記載した。
- これをもとに自治会と市が協議し、被害防止対策を決定した。

#### (2) 対策の実践

- 計画的かつ効率的なサルの捕獲を実施するため、大型囲いわなを設置した。
- 住民自らが放任果樹の除去及び草刈りなど環境整備を行った。



サル捕獲用大型囲いわな

## 5 取組の成果

○10頭未満のサルの出没がたびたび見られ、農作物被害も受ける。すぐ側の椎茸の食害はみられるが囲いわなに近づかず捕獲に至っていない。

○集落ぐるみで環境整備を行ったことにより、農作物被害は減少傾向にある。

【被害額】

(千円)

区分	事業実施前	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	145	120	▲ 25	100	▲ 45	80	▲ 65
サル	380	350	▲ 30	330	▲ 50	300	▲ 80

## 6 地区代表者のコメント

今年もサル捕獲用大型囲いわな周辺には多くの出没が見られ、野菜、イモ類、マメ類の給餌を続けるが捕獲には至っていない。

地区では、通常10頭未満の群れだが小集団での出没、夜間の出没も見受けられ、近年被害が多く見られることから、昨年わなの中に設置した椎茸原木に発芽がみられるので様子見の状態。

近郊ではウンカ被害のあった田で30頭程度の群れも確認されている。

## 7 今後の取組

引き続き、集落ぐるみで追い払い、見回り活動、放任果樹の除去や草刈りなど集落の環境整備を実施していく。